

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 幸作成日: 平成 29 年 1 月 31 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	家族面会や行事参加の時に職員が、利用者や家族と話す機会を設け、意見や要望を聴き取っているが、面会の少ない家族にも、利用者の近況や健康状態が、報告出来る体制を整えていく。	家族会を設立し、家族同士の交流を図り、家族の悩みや心配事を話し合い、ホームに来ることが家族の楽しみになるように取り組み、利用者を家族と共に支え合える環境整備に取り組んでいく。	12ヶ月
2		今後のグループホームの在り方	毎年のように法律が変わり、グループホームの将来が見えてこない中で、これからのホームの長期計画を考え、職員に希望とやる気に繋げる職場として、取り組める体制を整えていく。	他グループホームと連携し、地域の高齢者の情報を共有し、地域密着型事業所として、地域全体でこれからの介護の在り方を話し合い、社会貢献も含めた計画を作成し、グループホームの将来が、展望できる体制を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。